

フードテック官民協議会発起会及び
フードテック官民協議会第1回提案・報告会
議事概要

<フードテック官民協議会発起会>

日時：令和2年10月2日（金）16時30分～17時00分

出席者：食品企業、ベンチャー企業、研究機関、関係省庁等、約200団体から約340名が参加。

議事：①議長の互選
②規約案の説明・質疑
③規約の採決、官民協議会の立ち上げ宣言

<議事②関係>

フードテック官民協議会規約案について事務局から説明。出席者から出た規約に関する主な意見等は以下のとおり。

・会員は「個人とする」とあるが、同一の団体から複数の者が参加した場合、協議会の運営が不透明になるのではないか。

（事務局）フードテック研究会における組織内外の垣根を越えた「個人」の自由な議論が中間とりまとめに繋がったと認識しており、このため「個人」を会員とすることを基本的な考えとしたところ。他方、この場合の議決方法について、多数決のほかコンセンサス方式も検討したが、それぞれ長所短所があること等から、基本的な考えに立ち返り、現行の規約案としたところ。まずはこの規約案でスタートし、今後のフードテック官民協議会（官民協議会）の運営の中で、どのような形が適切か、会員のみなさんと考えていきたい。

・会員が不適切な活動をした場合に除名する規定はあるのか。

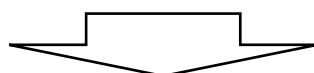
（事務局）第10条に除名に係る手続きを規定している。

・将来的な事務局の在り方は、どのように考えているのか。

（事務局）立ち上げ時は農林水産省が事務局を担うが、将来的には自立した活動ができる体制が構築できればよいと考えている。

<議事③関係>

議長から規約案の採決を行い、出席者から異議の声なく、規約承認。議長から官民協議会を立ち上げる旨の宣言。引き続き、官民協議会第1回提案・報告会を開催。



＜フードテック官民協議会第1回提案・報告会＞

日時：令和2年10月2日（金）17時00分～18時00分

議事：①あいさつ

②協議会について

③WT・CCの提案

④その他

＜議事②関係＞

協議会の概要について事務局から説明。特段の質問なし。

＜議事③関係＞

- ・2050年の食卓の姿、新興技術ガバナンス、スマート育種産業化、SPACE FOOD、昆虫ビジネス研究開発、細胞農業、ヘルス・フードテックについて、各作業部会の代表者から説明。出席者から特段の質問なし。
- ・細胞農業に関するコミュニティ活動について、代表者から説明。出席者から特段の質問なし。

＜議事④関係＞

- ・パソナ社から、Plant Based Lifestyle Lab. 及び Plant Based Food 普及促進 WT 設立について紹介。
- ・世界経済フォーラム第4次産業革命日本センターから、グローバル・テクノロジー・サミットについて紹介。
- ・事務局から、令和3年度予算概算要求農林水産省フードテック関係予算について紹介。
- ・第2回提案・報告会は、来年2月に開催予定。

以上